

『子どもにツケを残さない!』『環境未来都市の実現!』
所沢市議会議員 谷口まさのり発行

Facebookで細かく情報
発信しております!

谷口まさのり 所沢市政レポート

『2016年12月議会報告編』/2月26日(日) 谷口タウンミーティング案内編

連絡先: 〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話: 04-2941-5111 / FAX: 04-2941-5112

・メール: tani.eco@dream.ocn.ne.jp

・Twitterも頑張ってます!! 『谷口まさのり』で検索下さい!



子どもにツケを
残さない!!



谷口 まさのり

- ◆(アップ分は受け取らない) 議員の期末手当アップを含む条例案に反対しました。
- ◆『高齢者』の自動車運転事故防止対策についての提言を行う!(一般質問)
- ◆歩道の無い道路への歩道優先設置について意見表明!(議案質疑にて)

上述の反対討論(12/27)、一般質問(12/9)の詳細は所沢市議会HPの中継録画をご覧ください。

1) 議員の期末手当アップ(民間で言えば賞与)を含む条例案*に反対した理由(概要)

*『所沢市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び所沢市常勤の特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正』

⇒現状の議員の期末手当4.15ヶ月から4.3ヶ月にする内容を含むもの。(今回、結果として改定された一般職員の期末手当と勤勉手当の合計支給月数4.3ヶ月と同じ)

私、谷口まさのり は以下の理由で『反対』致しました。(条例案は賛成多数で可決)

①議員の期末手当は過去から人事院勧告などを勘案し様々な議論を経て決定し、一般職員等と比較し、議員への支給月数が低い期間が続いていたり、逆に議員の方が高い期間が続いていたり、その時々で推移してきた。所沢市は今後、中期的に『超高齢社会』が続き、社会保障関連費用の更なる増大が容易に予想され、財政は明らかな好転が見込みにくい。このような中で、今後も『痛み』、『不利益変更』といったことを所沢市民の皆様へ受け止めて頂かざるを得ない場面があり、そのような痛みを伴う内容の議案も議決せざるを得ない議員の立場として、今回の改正案とは別の判断があっても良い。

②つまり、平成20年度時点の4.3ヶ月支給から平成21年度に4.15ヶ月に下げて以降、既に7年度継続している、4.15ヶ月を今後中期的に財政状況の好転が見込みにくい情勢下における上限の目安としながら、この範囲内で変動させていくという考え方もある。また、この間、所沢市は国からの地方交付税の不・交付団体から交付団体になっている。

(←財政的に厳しくなっているということ)

(議案可決を受けて、私、谷口まさのり の今後の対応) 私は所沢市の財政状況の明らかな好転が期待できない現下の状況では期末手当の支給月数は年間4.15ヶ月を上限の目安と考えておりますので、

4.15ヶ月分を超える差額(今回可決された4.3ヶ月分との差は100,800円)は所沢市に返還すべきと考えております。しかし、現状は公職選挙法上の寄付行為とみなされ、法に抵触する可能性が高い為、まずは法務局に差額を『供託』(又は別途で個別管理)し、議員の立場を離れ、立候補しない状況になった時点で所沢市に戻すといった対応をとる所存です。*今回の場合はお金を預けること。裏面へ



↑ 反対討論に登壇

2)(なんとかしなきゃ!)高齢者の自動車運転事故防止対策についての提言(概要)



←谷口: 高齢者の運転免許返納者に対して運賃の10%割引を行っているタクシー会社もある。このような情報を広報とところざわ等で広く発信しては?

担当部長: 免許返納者が様々な特典を受けられる『シルバーサポーター制度』を所管している所沢警察署が既に「埼玉県警察」ホームページで周知している。市において制度周知を行うのであれば、一事業者のみを取りあげるのではなく、全般的な制度の説明をし、PRを進めていくものとする。



谷口: 次に免許返納以外で、現在の車に安全装置的な概念で機器や装置を取り付ける対策を提言する。例えば現在、ブレーキとアクセルが一体化されたペダルが商品開発され、アクセルは右足を右側に傾ける仕組みになっている。(取り付け込みで約20万円)間違えてペダルを踏み込んだとしても、アクセルと繋がる機器が外れ、アクセルではなくブレーキがかかるというもの。これは熊本県内の会社が開発しているが、首都圏でも徐々に取り付け実績が増えてきているとのこと。このような類の商品の信頼性や客観的評価、今後の実績を見ながら情報発信をしたり、既に山口県警察が主催で試乗体験会が行われている事例もあることから、所沢市でも試乗体験会を行ってはどうか? 実際に体験してみて、取り付けるか否かは個人の選択に任せることだが、**ブレーキとアクセルの踏み間違い事故を可能な限り防止する1つの対策になると考える。**

担当部長: これらの商品は現在全国的には普及しておらず、また大手自動車メーカーが自動運転の導入等を計っていることもあり、その趨勢を見守りたい。このような事情から現時点では情報発信、試乗会は難しいものとする。



★その他、私、谷口から、免許返納者限定での『ウーバーシステム』(兵庫県京丹後市で行われている取り組みで、事前登録した、利用会員と有償運転ボランティア間の仲介システム)の仕組み作りを提言致しました。この問題については、自動運転車の実現されたとしても、全ての方が即購入とはならない為、最適解は簡単には見つかりませんが、少しでも現状からの改善を目指してまいります!



3) 歩道の無い道路への歩道優先設置について意見表明を行う!

今回、所属する建設環境委員会で下富地域での歩道整備の予算案が審議され、本会議で可決されました。私は委員会での意見表明で、現在の『道路拡幅の優先整備計画(67 路線)』の内、『歩道の無い道路に新たに歩道を作る計画 14 路線』については、『**通学する子どもを含む歩行者の人命を第一**』と考え、この14路線の歩道を優先的に整備することを求めました!



2 / 2 6 (日) 谷口まさのり所沢タウンミーティング

『所沢市でこのような取組をしたら良いのでは?』というアイデア等をお聞かせいただく場としたいと思います。ミーティング後は別会場で会費制交流会も予定しております。

◆2/26(日)15:20~16:45(ミーティングは無料)◆狭山ヶ丘コミュニティセンター2F(18席)

◆谷口まさのり経歴・昭和40年北海道生まれ、埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業・環境や省エネ企業に15年間在籍・1997地球温暖化防止 京都会議に参加・2011年4月所沢市議選に初当選、現在2期目・趣味等: スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カラオケ、カブトムシ採り、大のビール党、日課はメカのカサヤリ・環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)/認知症サポーター
★駅では原則、始発前からポスターを配布しており、『始発の谷口』『始発男』と言われております。